

障害者の本音

・田村さんは14歳から車椅子ユーザーに。
・障害者を初めとしたスポーツクラブを創設したり、
・一般社団法人「E.N.E」を創設した。

Q どういう声かけをされたいですか？

A ・お助けしましょうか？

・手伝えることがあったら言うて
ください。

Q どういう時助けてほしいですか？

A どうしても自分で解決できないこと。

① 自販機の下に落ちた小銭を拾う。
落ちたものを拾う。

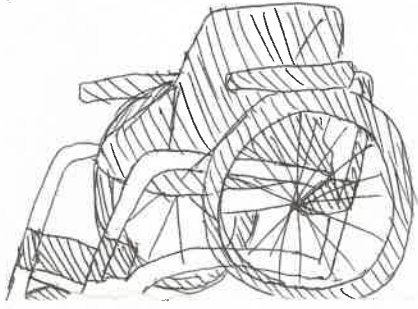


まとめ

・積極的に助けてほしい人と
そっとしておいてほしい人がいる。

・声かけの仕方を工夫する必要がある。

・落ちた物を拾ってあげよう。



レGBTQ+の自分らしさ

高野さんは、トランスジェンダーとしてレGBTQ+の
人たちの相談にのったり、講演を通して発信
したりしています。

Q 学校の制服よりも自己カスタムができる
制服、私服はどうか。

A 私服は幅が広がりが面倒になる人がいる
だろう。

カスタムできる制服は周りがやましいが、
ハイトルが低くていいかもしれないが、今では
特に男性がスカートもはくハイトルはまだ
高いだろう。

Q 結婚とパートナーシップの違い

A 結婚は法で守られるが、パートナーシップ
では守られない。法で守られれば、おとりだも
とまでは時の夫婦や相続、親が認めないから
う、「家から出る」といわれる可能性もある。
法で守られれば、そんな心配はない。

まとめ

当事者だけでなく周りも一緒に変える
ことで、偏見が少なくなり、「自分
らしく」することが当たり前前に
なるのではないのでしょうか。



みんなのために
行動してくれる人

今回は、NPO法人暮らしづくり
ネットワーク北茨で働く丸岡朋樹さん
に話を聞いてみました。

◎ 日常でどのような活動をしていますか？

A 色々な理由でしたいことができない子供や
高齢者を支援して良い町づくりを行って
いる活動をしています。

◎ 部落差別は現状どうなっていますか？

A かなり見えにくくなっている
理由(差別は形を変えて行われてい)(SNSなど)
文化的差別・制度的差別などいまだに
根深く残っているから)

最後に丸岡さんに学校のなかでみんな
が楽しめるイベントは何か聞いて
みました。その答えは虫探しです。
理由は学年関係なく楽しめるからです。
丸岡さんがそのあとに何につなげるか
が大切だとおしえてくれました。

まとめ

丸岡さんは差別をうけていたり
貧しい人たちでモヤリたいたことが
やれるようにするために活動
していることがわかりました。